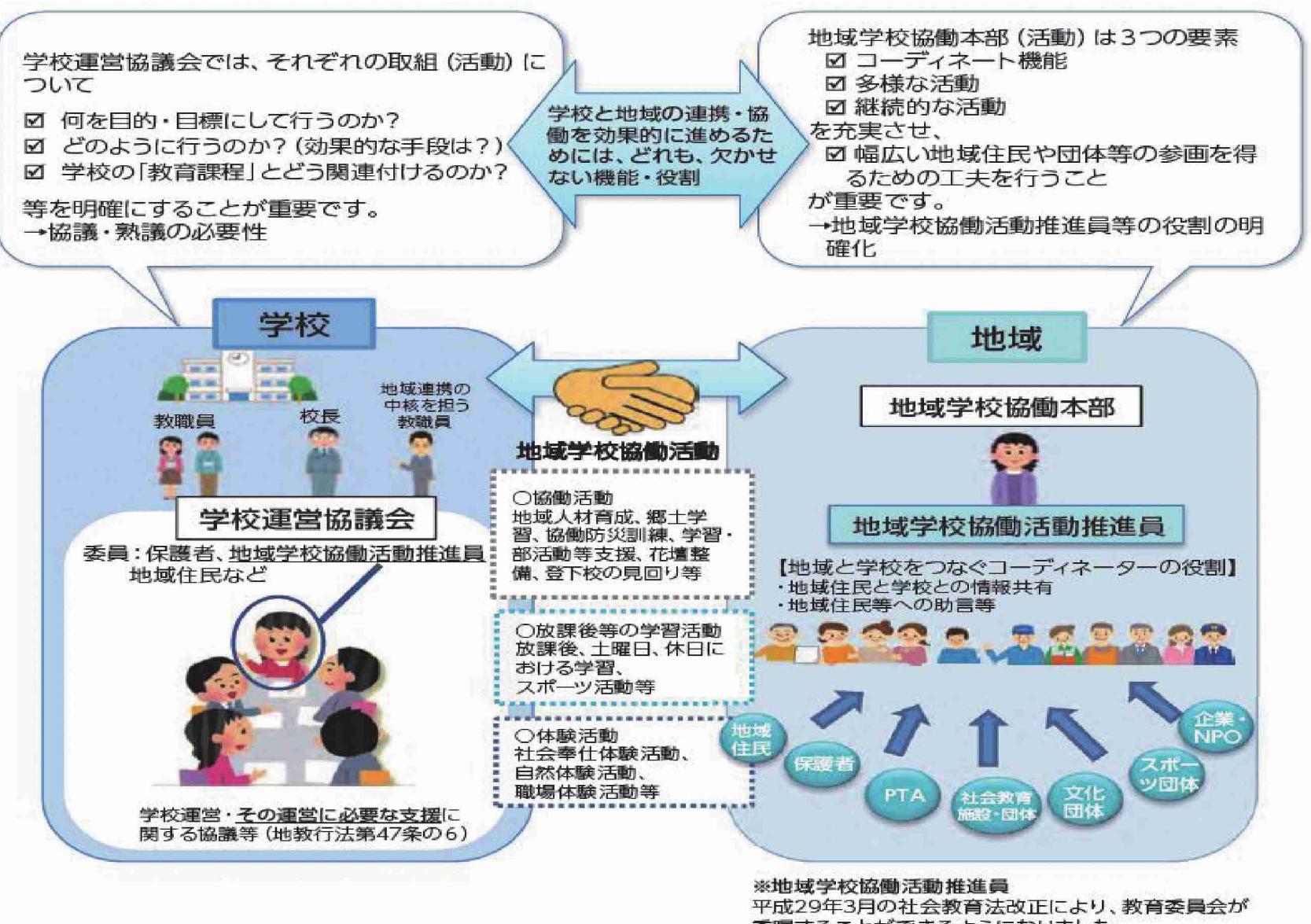


これからの時代に必要な 学校と地域との効果的な連携・協働のあり方

★コミュニティ・スクールと地域学校協働本部を両輪とする連携・協働の推進

地域学校協働本部とは、地域と学校とが連携・協働して、広く地域住民の参画により、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動（＝地域学校協働活動）を推進する体制です。

子どもたちの豊かな未来を実現していくためには、各地域や学校における実情や特色を踏まえながら、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部とが、相互に補完し高め合う存在として、両輪となって相乗効果を発揮していくことが重要です。



★これからコミュニティ・スクールの導入を検討しようとする市町（組合）教育委員会におかれましては、「地域と学校の連携・協働の推進に向けた参考事例集」（平成28年4月：文部科学省）にさまざまな取組が掲載されていますので、それらを参考にしながら、地域ならでは、各学校ならではの取組を進めていただきますようお願いします。

〔主な掲載事例〕

- ・地域における協働体制からコミュニティ・スクールに発展した事例
- ・コミュニティ・スクールから地域における協働体制に発展した事例
- ・コミュニティ・スクールと公民館型のネットワークを連携させた事例

〔コミュニティ・スクール、地域学校協働活動に関する問い合わせ先〕

☆コミュニティ・スクール担当

・京都府教育庁指導部学校教育課 TEL：075-414-5833 FAX：075-414-5837

☆地域学校協働活動担当

・京都府教育庁指導部社会教育課 TEL：075-414-5886 FAX：075-414-5888

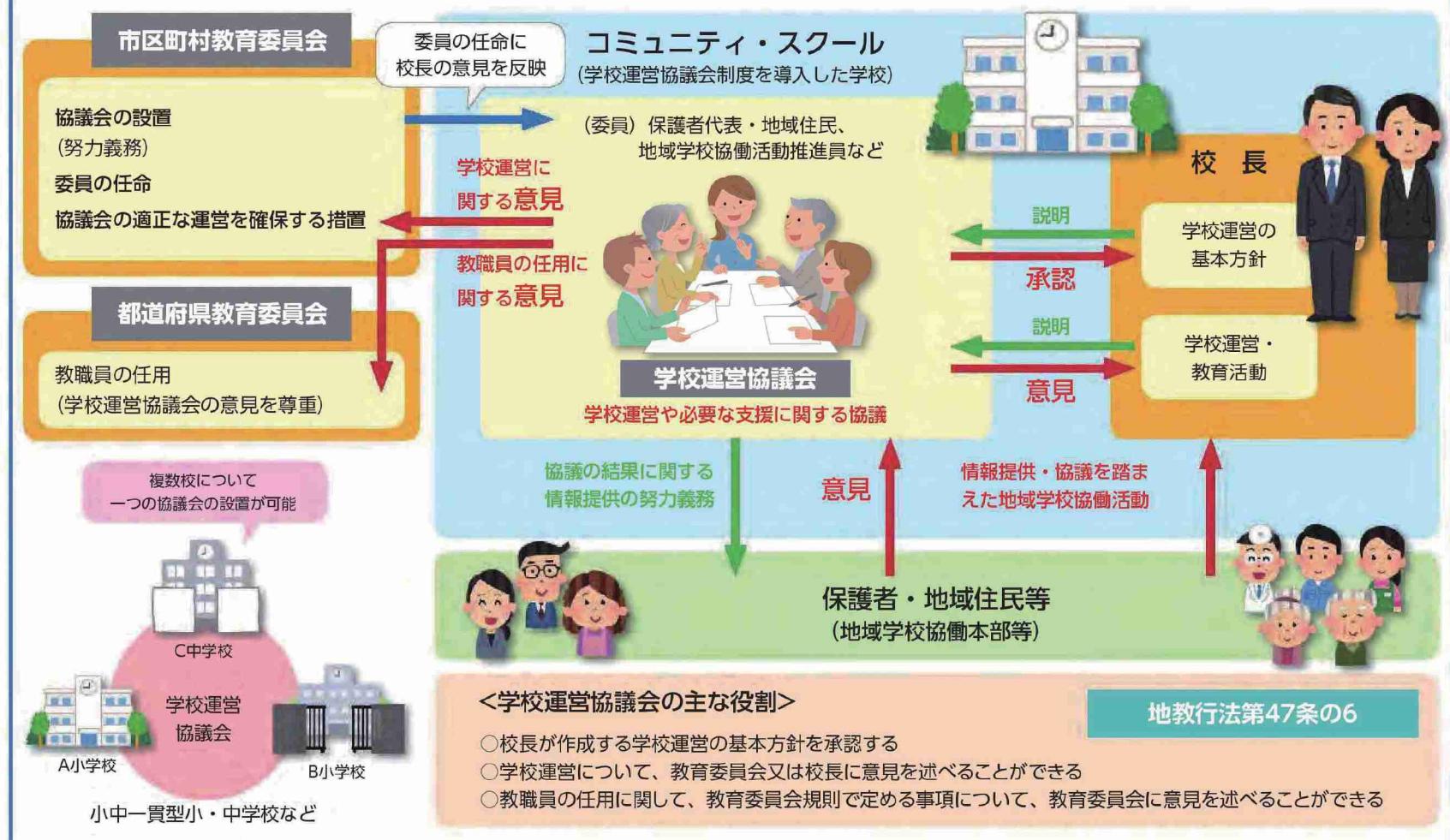
作成・発行：平成30年10月

「地域に開かれた学校」から 「地域とともにある学校」へ

コミュニティ・スクールで 学校も 地域も 生き生きと！



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



学校と地域が手をつなぎ、子どもたちを社会総掛かりで育む「コミュニティ・スクール」は、「社会に開かれた教育課程」を実現し、未来を担う子どもたちの豊かな成長を支援する仕組みです。

京都府教育委員会教育長 橋本 幸三

Q コミュニティ・スクールの導入によって、どのような効果が表れていますか？

○子どもたちにとって

- ・地域住民等の協力を得ることで、学校での学びや体験活動が充実します。
- ・地域住民等の協力を得た活動を通して自己肯定感や思いやりの心が育つとともに、地域の担い手としての自覚が高まります。

○保護者にとって

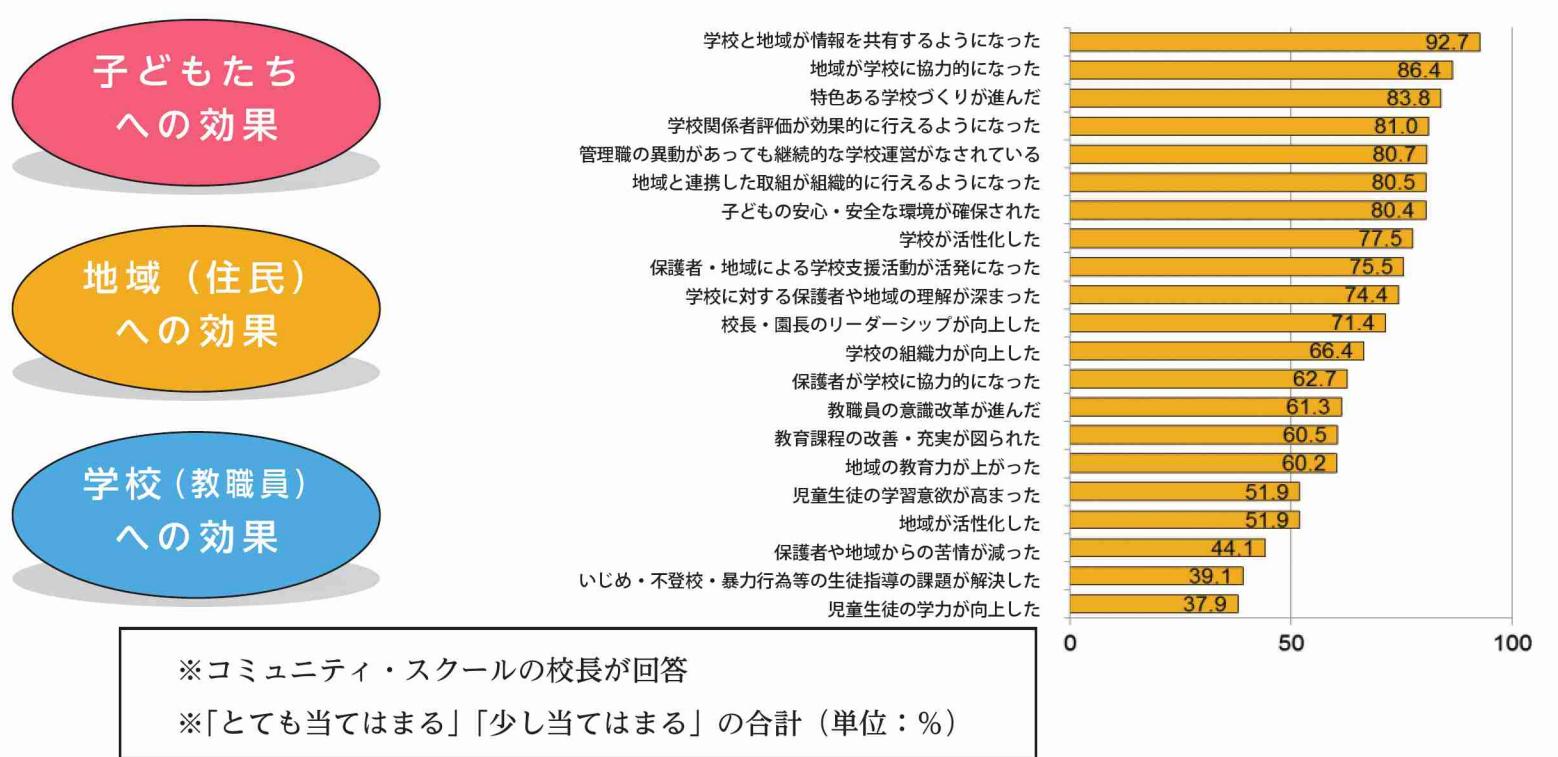
- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が生まれ、保護者同士や地域住民との人間関係を構築することができます。

○地域住民にとって

- ・経験を生かすことで、生きがいや自己有用感につながります。
- ・学校が地域における社会的なつながりのよりどころとなり、学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。

○学校（教職員）にとって

- ・多くの大人の専門性や地域の力を生かした学校運営・教育活動が実現します。
- ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、教職員が子どもと向き合う時間の確保につながります。



【出典：「総合マネジメント力強化に向けたコミュニケーション・スクールの在り方に関する調査研究報告」平成27年度文部科学省委託調査】

Q コミュニティ・スクールは、現在どれくらい導入されているのでしょうか？

○全国では、平成30年4月1日現在で、46都道府県内の5,432校で導入されており、これは全国の学校の内、14.7%にあたります。また、学校設置者で見ると、設置している自治体の数は、532市区町村・18道府県で、これは、全国の学校設置者の内、30.5%にあたります。

○京都府内(京都市を除く)では、平成30年4月1日現在で、43校(小学校33校、中学校10校)がコミュニケーション・スクールを導入しています。設置している市町村は10市町で、管内すべての小学校、中学校でコミュニケーション・スクールを導入しているのは、城陽市、久御山町、伊根町です。(詳細は下表参照)

市町村名	コミュニケーション・スクールを導入している学校
城陽市	城陽市立久津川小学校、同 久世小学校、同 寺田小学校、同 寺田南小学校、同 今池小学校、同 寺田西小学校、同 深谷小学校、同 富野小学校、同 青谷小学校、同 古川小学校、同 城陽中学校、同 南城陽中学校、同 西城陽中学校、同 東城陽中学校、同 北城陽中学校
京田辺市	京田辺市立普賢寺小学校
久御山町	久御山町立御牧小学校、同 佐山小学校、同 東角小学校、同 久御山中学校
精華町	精華町立精華中学校
亀岡市	亀岡市立東別院小学校
南丹市	南丹市立園部小学校、同 園部第二小学校、同 八木西小学校、同 八木東小学校、同 殿田小学校、同 胡麻郷小学校、同 美山小学校
京丹波町	京丹波町立竹野小学校、同 丹波ひかり小学校
福知山市	福知山市立美河小学校
舞鶴市	舞鶴市立城北中学校区(同 明倫小学校、同 吉原小学校、同 余内小学校、同 福井小学校)、同 加佐中学校区(同 岡田小学校、同 由良川小学校)
伊根町	伊根町立伊根中学校区(同 伊根小学校、同 本庄小学校)

京都府内でコミュニケーション・スクールを導入している事例紹介

◆ 京丹波町立丹波ひかり小学校

1 導入のきっかけ

- ◇学校の歴史と教育風土の上に、学校・家庭・地域が互いにつながりを深め、響き合う関係を構築し、発展させていくことが、子どもたちに愛情を基盤とした多様で豊かな学習や体験を用意することになると考えています。
- ◇この構想と理念が生きる学校を「地域響育学校」と名付け、「学校運営協議会」という手法で構築することとし、平成19年度に学校運営協議会を設置しました。



「学習支援部会」の活動の様子

2 活動内容

- ◇学校運営協議会設置とともに、「学習支援部会」「食育部会」「環境・栽培部会」「読書支援部会」の4つの専門部会をおき、教育支援等を行ってきました。
- ◇平成29年度からは、4つの専門部会を地域学校協働活動本部とし、コミュニケーション・スクールと地域学校協働本部としてさらに充実した取組を進めています。

3 成果等

- ◇子どもたちは、地域に見守られている、包み込まれている状況にあるので、落ち着いて学習する姿勢につながっています。
- ◇地域の方も、子どもたちの成長を目の当たりにすることにより、学校への支援等が生きがいになっています。

◆ 精華町立精華中学校

1 導入のきっかけ

- ◇教職員・保護者の力だけでは、安心・安全な学校を維持していくことは難しい中で、「地域の力」を借りて学校づくりを、そして、学校の活性化のため「学校・家庭・地域が一体となって取り組もう」という思いがきっかけとなり、平成19年度から取組をスタートさせ、平成21年度に学校運営協議会を設置しました。



「収穫祭部会」の活動の様子

- ◇最初は、学校の空き教室等を活用し、地域住民対象の生涯学習講座「シニア・スクール」の取組を進め、地域の方が学校に自由に入りできる状況をつくりました。
- ◇なお、平成25年度には、「精華中学校コミュニケーション協議会」が、優れた「地域による学校支援活動」と認められ、文部科学大臣表彰を受けました。

2 活動内容

- ◇現在は「精華中学校学校運営協議会」の下に設置された「精華中学校コミュニケーション協議会」に、「地域連携交流部会」「学校支援・小中連携部会」「収穫祭部会」「シニア・スクール部会」「スポーツクラブ部会」の5つの部会を設け、学校及びPTA(平成30年度から「community」を加え「PTCA」と呼んでいます。)と連携しながら、様々な事業を行っています。

3 成果等

- ◇校門や玄関は、常にオープンにされており、「シニア・スクール」受講生である地元の方々も、校内を気軽に歩きながら、生徒たちとコミュニケーションをとっておられ、とても落ち着いた雰囲気の学校になっています。
- ◇生徒たちは、地域の方々に見守られながら、「精華中学校コミュニケーション協議会」の事業に参加し、地域社会の一員としての自覚を着実に身に付けています。